



外国出張報告書

平成 27 年 6 月 11 日

1. 出張国名 ラオス
2. 出張月 平成 27 年 5 月
3. 出張目的 ミズアブ幼虫飼育の更なる改良と現地で入手可能な効率的飼料の試行準備及び村に設置した成虫トラップの状況確認：C

4. 成果の概要

ラオス水生生物資源研究センターのノンテン養魚場スタッフによるアメリカミズアブの産卵誘引と幼虫飼育は、良好な状態が継続的に維持されており、誘引成虫により産下される卵塊数は昨年の同時期より確実に増加していた。ナムアン村に設置したトラップでも村の協力農家とノンテンのスタッフが協力して良い状態が保たれ、新たに野外成虫による多くの産卵が確認された。今後は、村で簡単に得られるミズアブ幼虫用の餌を確保する必要がある。